

6月は環境月間です

問合せ

環境政策課

☎0833(72)1400

脱温暖化社会に向け、まず一歩

私たちは、大量生産、大量消費、大量廃棄によって、便利で快適な生活を営んできました。しかし、これと引きかえに地球温暖化などの環境問題は深刻化しています。

限りある資源を有効に活用し、地球の環境をこれ以上悪化させないためにも、『最適生産、最適消費、最少廃棄』を目指した循環型社会の構築に向け、生活スタイルを変える必要があります。

地球が悲鳴をあげています

地球の平均気温は約15℃で推移してきましたが、この100年で0.7℃上昇しています。このまま温暖化が進むと、100年後には平均気温が1.1℃～6.4℃上昇すると言われています。6月5日は環境の日、6月は環境月間です。この機会に環境について考え、まず毎日の生活でできることから始めましょう。これが環境問題に取り込む第一歩です。

限りある資源を有効活用するには、一人ひとりの工夫でできる省エネルギーが、とても大切です。まずは、家計の節約を行う気持ちで取り組み、地球の省エネの第一歩としてみませんか。

日々の省エネ実践例

週2日往復8kmの車の運転を止める…年間約84ℓのガソリン節約(約1万3000円)
 1日5分のアイドリングストップ…年間約17ℓのガソリン節約(約2600円)
 待機電力を50%削減…年間約155kwhの節約(約3400円)
 炊飯ジャーの保温を止める…年間約88kwhの電気節約(約1900円)
 冷房温度を27℃から28℃にする…3か月で302kwhの電気節約(約700円)

植えよう！育てよう！緑のカーテン

『緑のカーテンは天然のクーラー、四つのやさしさで省エネ効果が期待できます』

地球にやさしい

二酸化炭素の削減

家計にやさしい

冷房機器の省エネ

心にやさしい

植物を育てる楽しみ

目にやさしい

緑の効用

地球温暖化防止には、省エネ、環境への配慮などの取り組みが必要です。つる性植物を、建物の壁面に沿って成長させて作る、「緑のカーテン」は、壁面を覆った葉が、赤外線を反射し、葉の気孔からは水分を蒸散して気化熱を奪うため、日差しをやわらげるだけでなく室内温度の上昇も抑えてくれます。

市では、具体的な取り組みの一つとして昨年度、アサガオやキュウリ、



島田小学校児童によるキュウリの苗植え

ゴーヤを育成し、緑のカーテン設置に向けて取り組みました。今年度は、取り組みの範囲を、市立小・中学校などに広げて実施し、児童や生徒の皆さんが、緑のカーテンを身近に作る体験をする事で、省エネや環境保全意識の啓発を図ることにしています。

なお、緑のカーテンの生育状況は市ホームページに掲載しています。

(<http://www.city.hikari.lg.jp>)